

# 「日本型テレワーク」のススメ

ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社  
人事総務本部長  
島田 由香



## 提言書

ポストコロナの働き方「日本型テレワーク」の実現  
～個人・企業・社会全体のウェルビーイングを目指して～

2021年8月

「ポストコロナ」時代における  
テレワークの在り方検討タスクフォース

## 3. 終わりに

新型コロナウイルス対策として、急速に拡大したテレワークだが、十分な準備を行わないまま導入された結果、テレワーク本来の良さやテレワークで出来るようになったことよりも、短期的な生産性の低下等の課題にフォーカスされがちである。

本タスクフォースのミッションは、「テレワークだとだめだよね」という先入観を払拭するとともにテレワーク本来の良さを伝え、良質なテレワークの普及に向けた検討を行うという野心的なものであるが、構成員全員の「知恵」と「パッション」により無事に提言をまとめることができた。5回の会合はすべてオンライン会議による実施であり、もとより会議の運営に何の支障もなかった。

議論の根底には、働くことが個人やチームのウェルビーイングに繋がるべきだという強い考えがある。「ワークライフバランス」という言葉は、ワーク中心で人生というものを考えるニュアンスがあり、今後は、人生のなかに仕事があるという「ワークインライフ」という言葉の方が馴染むという意見もあった。

テレワークは、社員が離れた場所で働くため、個人の業務の明確化にフォーカスされがちだが、テレワークでも適切なコミュニケーションをとることで、従来の日本型の働き方の良さである「チームワーク」により、パフォーマンスを最大化していくことも可能であり、これが企業全体、社会全体の生産性の向上にも結びつく。

重要なのは、働き方や制度を急激に変えるのではなく、一つずつステップを踏みながら変わっていくことであり、その旨をしっかりと発信していくことである。本タスクフォースにおいても、発信の在り方についても引き続き検討を行っていく。

本提言が、人々のウェルビーイングの向上に繋がるテレワークの普及の一助となることを期待している。

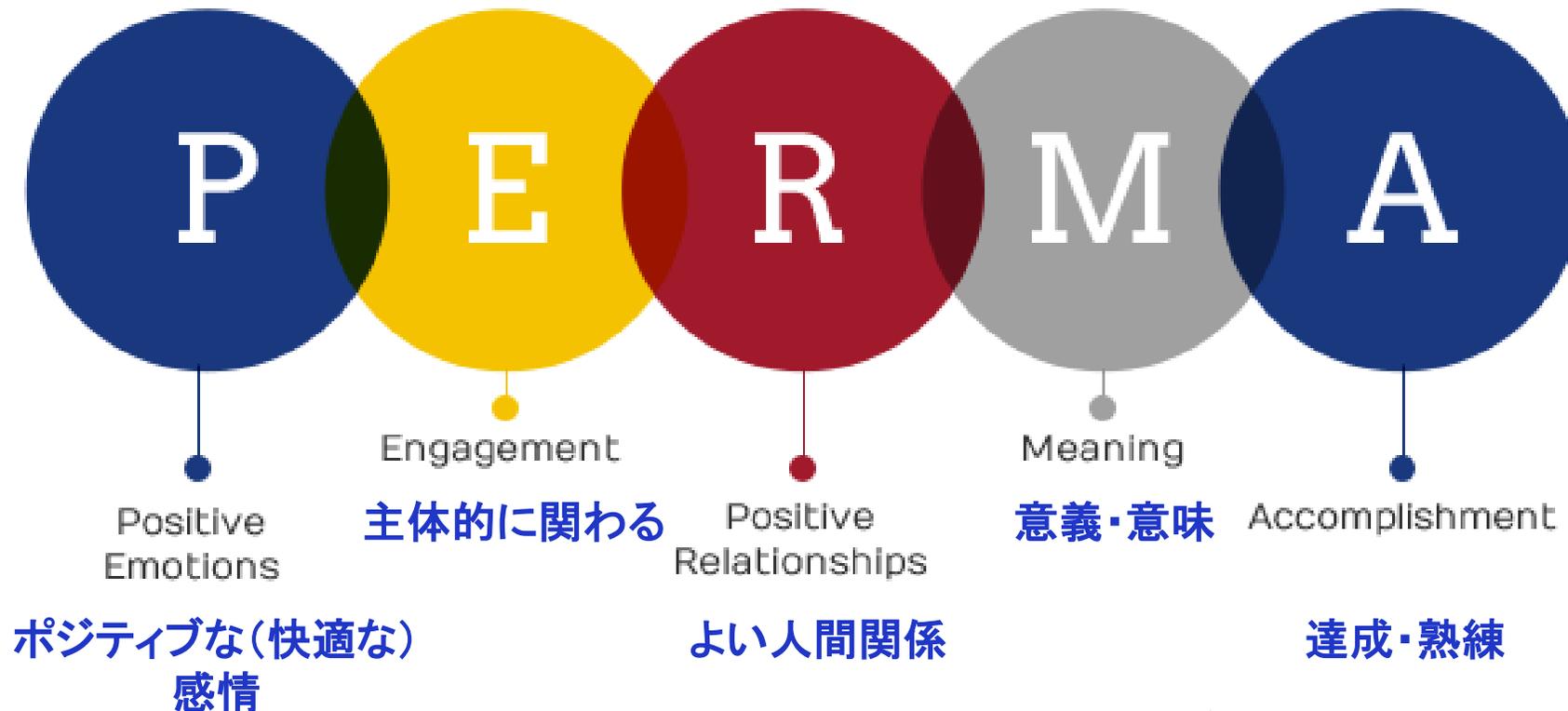
# Wellbeing向上がビジネス成長のカギ

- 健康
- 長寿
- 素晴らしい人間関係
- 仕事のパフォーマンスと創造性の向上
- 社会への参加・社会性のある行動
- レジリエンスの向上

マーティン セリグマン博士 ペンシルバニア大学  
Dr. Martin Seligman University of Pennsylvania

# Wellbeing( 継続的幸福 )を高める5つの要素

## PERMA Model





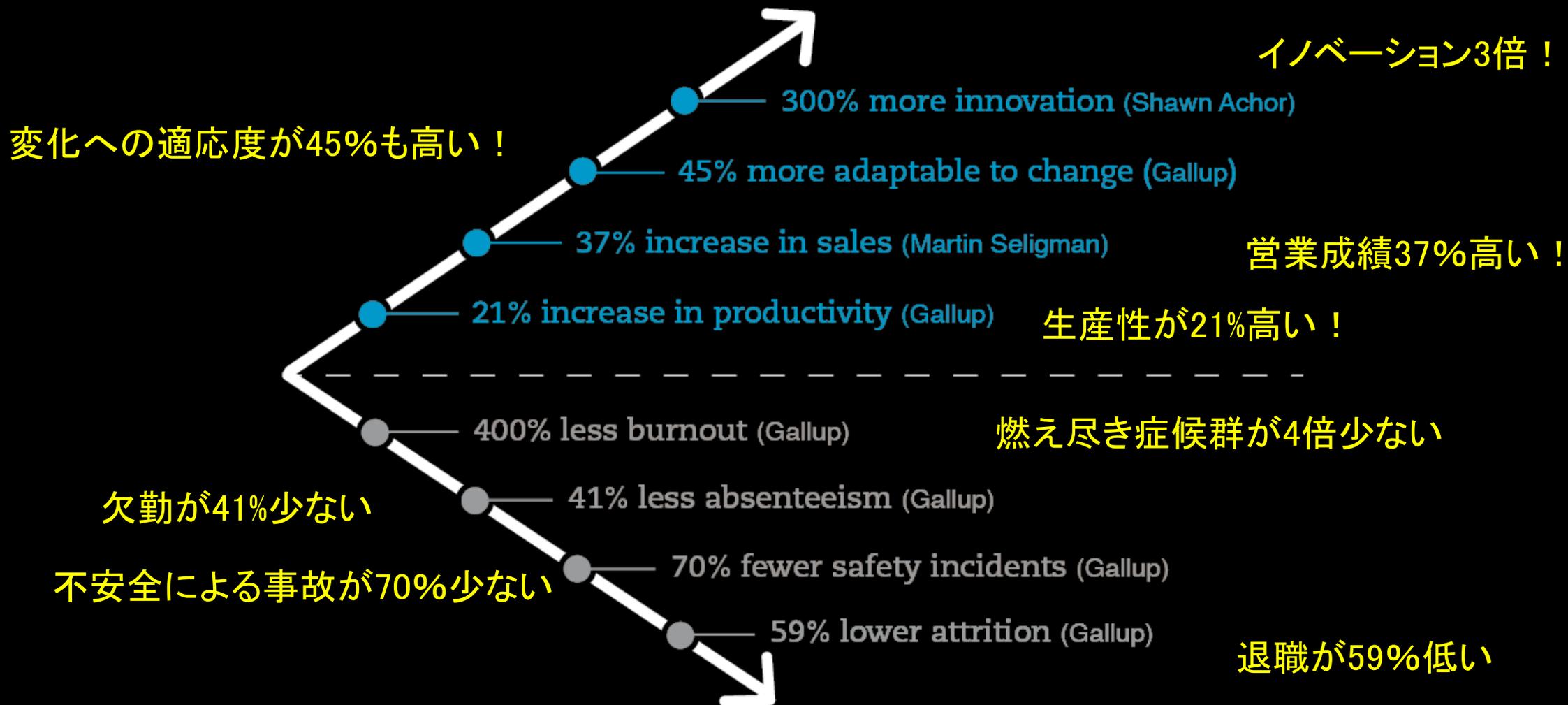
**幸せに働く**

**柔軟な働き方**

**ダイバーシティ &  
インクルージョン**

**心理的安全性**

# 仕事における幸せの効果



# New Ways of Working



## これからの働き方

WFHを中心とするWAA

ワーケーション  
Workation/WAAcation

副業・複業・福業  
Parallel Career

個の活性  
個性の発揮



## これからの組織のあり方

個人のあり方次第

ウェルビーイング  
Wellbeing

雇用は

個要へ

## New Ways of Working



## これからの働き方

### WFHを中心とするWAA

ワーケーション  
Workation/WAAcation

副業・複業・福業  
Parallel Career



## これからの組織

### 個人のあり方次第

個の活性  
個性の発揮

ウェルビーイング  
Wellbeing



## これからの生き方

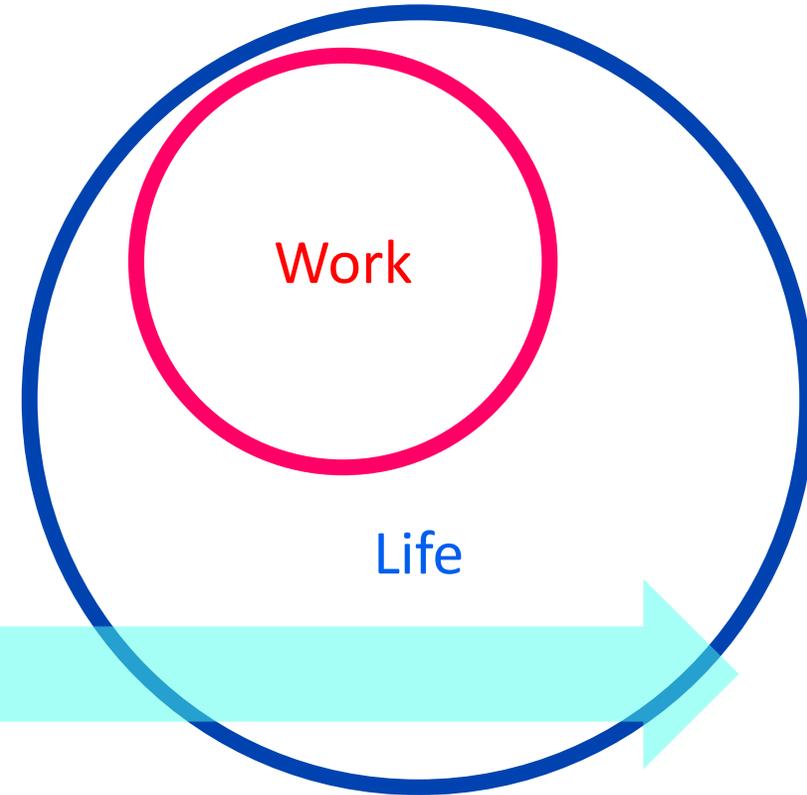
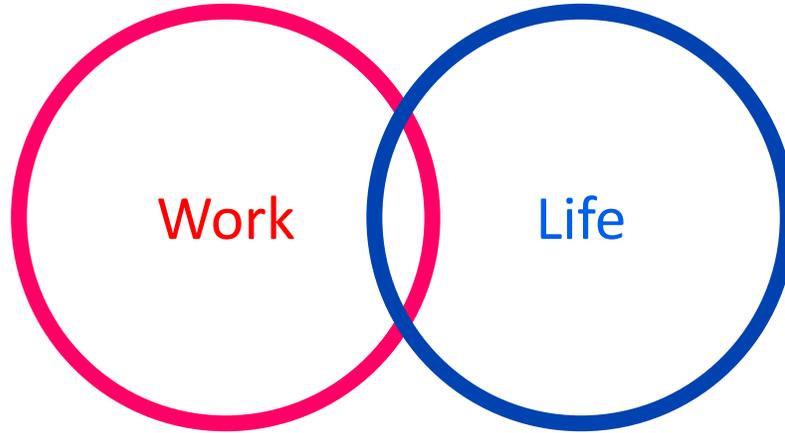
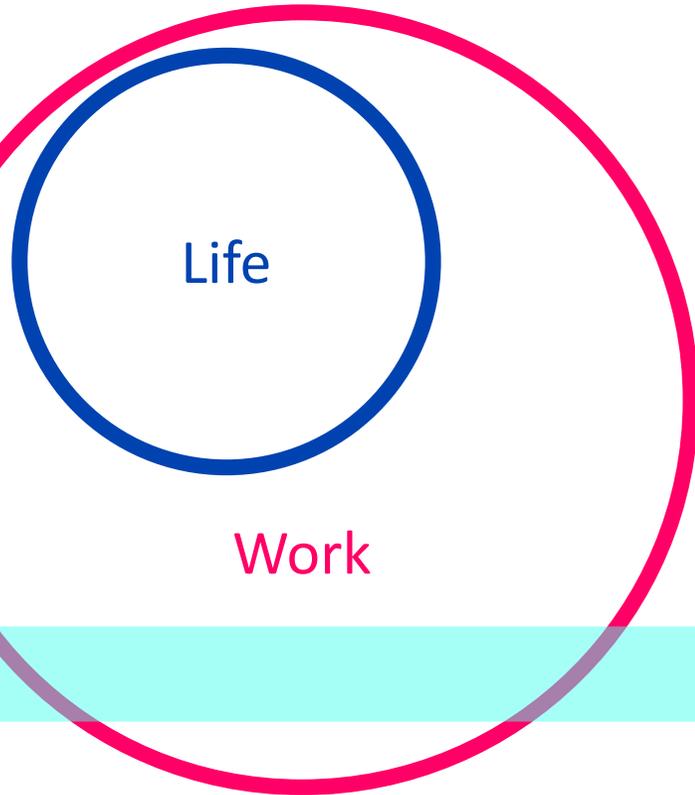
働き方は

生き方

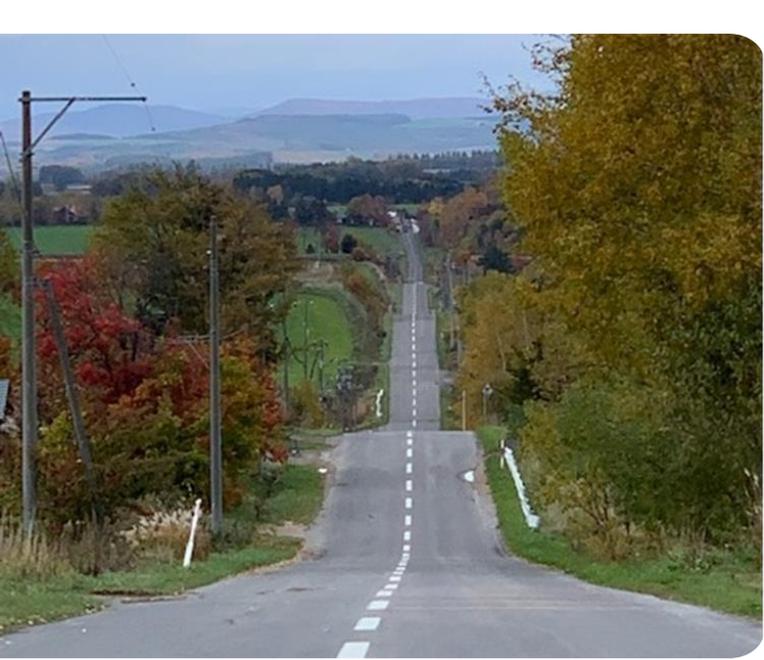
OUT OF

BALANCE

IN



フォーカスは人生へ  
どう生きるか？どんな人生をおくりたいのか？



非日常は

いい日常